

令和7年度長崎県公立学校
教員採用選考第1次試験問題

教科・科目

高校 音楽

受験番号

氏名

実施日 令和6年6月16日(日)

令和7年度長崎県公立学校教員採用選考試験

高校音楽

解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。

1

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術編(平成30年7月)」について、以下の各問いに答えよ。

問1 次の文は、「第1部 芸術編」「第2章 各科目 第1節 音楽」「3 内容 B 鑑賞 ア」である。文中の()～()にあてはまる語句を正確に答えよ。

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる()を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその()

(イ) ()や社会にとっての音楽の意味や価値

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

問2 次の文は、「第1部 芸術編」「第2章 各科目 第1節 音楽」「4 内容の取扱い」について解説した一部である。文中の()、()にあてはまる語句を正確に答えよ。

(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

従前、知的財産権の取扱いなどについては、音や音楽と生活や社会との関わり、音環境への関心を高めることに関する配慮事項と併せて示していたが、今回の改訂では、独立させて示し、その目的を一層明確にしている。

知的財産権とは、知的な()によって何かをつくり出した人に対して付与される、他人に無断で利用されない権利である。この中の一つに著作権があり、著作権には、著作物を保護する著作者の権利、実演等を保護する()がある。

2

次の各問いに答えよ。

問1 次の文は近代の日本音楽史についての説明である。文中の()～()にあてはまる語句を正確に答えよ。

明治になり、文明開化の思潮のもとに西洋音楽が移入され、次第に影響力を強めていく一方で、社会に深く根づいている伝統音楽にも新たな動きが見られた。

1879年、() (後の東京音楽学校) が設置され、今日の音楽教育の基礎が築かれた。() では、東西二洋の音楽が研究され、東西の音楽を折衷した新曲を作ったり、欧米の歌曲に新たな日本語の歌詞をつけたりなどさまざまな試みがなされた。これを背景に、学校教育用の() が多数作られた。

大正時代から昭和初期にかけて、西洋音楽の要素を取り入れるなど新しい邦楽を目指した() が起こった。その中心として活躍したのが箏曲家の() で、十七弦箏の発明や奏法の拡大など、新たな可能性を追求した。

問2 次の文は19世紀頃からの西洋音楽史についての説明である。文中の()～()にあてはまる語句を正確に答えよ。

オペラでは豊かな声量、技術や表現力が求められ、() 唱法が用いられた。また、文学や絵画などの結びつきを重視した() が盛んになり、明確な物語性をもった交響曲を書いたベルリオーズや() を創始したリスト等が活躍した。一方、ブラームスはベートーヴェンの交響曲を継承し、物語性を排した() を主に追究した。

19世紀半ばを過ぎると、ロシア、北欧、中欧などの作曲家が自国の音楽的な素材を用いた作品を書き始める。このような() 主義に基づく作曲家の一派を国民楽派と総称する。

問3 ラヴェルが作曲したバレエ音楽「ボレロ」を取り上げ、鑑賞の授業を行う。音楽を形づくっている要素のうち、「リズム」または「音色」に着目し、生徒にこの楽曲のどのような特徴を感じ取らせたいか簡潔に説明せよ。なお、「知覚」「感じ取らせたい」という言葉を用いて説明すること。

3

次の楽譜は、ある楽曲の一部分を示している。以下の各問いに答えよ。

問1 曲名及び作詞者、作曲者を答えよ。

問2 この曲の作曲者による作品ではないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア．「赤とんぼ」
- イ．「待ちぼうけ」
- ウ．「早春賦」
- エ．「からたちの花」

問3 楽譜中の mf colla voce の *colla voce* の意味として適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア．声を和らげて、ひそかに
- イ．半分の声量で
- ウ．歌うような音色で
- エ．独唱者のテンポなどに従って

問4 次の文は、この楽曲の詩についての説明である。文中の() ~ ()にあてはまる語を《語群》から選べ。

この詩は、作詩者の幼少期の追憶と、北海道を旅した際に見た風景をもとにつくられたという。作曲は1927(昭和2)年である。()は詩に即しているので、()が途中で頻繁に変化しており、また言葉の()なども表現されている。

《語群》	音色	リズム	旋律	速度	拍子	調
------	----	-----	----	----	----	---

問5 この曲の詩のイメージや特徴について、音楽の構造と関わらせながら指導するための具体的な方法について簡潔に答えよ。

問1 第4小節は何調の 度の和音か答えよ。

問2 この曲の作曲者のほかの作品を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

ア．交響詩「フィンランディア」

イ．交響詩「我が祖国」

ウ．スラヴ舞曲集

エ．ハンガリー舞曲集

問3 この曲の作曲者について解説しているものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

ア．晩年ニューヨークの音楽院の院長を務めた。哀愁あふれる叙情的な旋律を数多く残した。
イ．ザルツブルクの宮廷音楽家だった父レオポルトの指導で幼小から演奏や作曲の才能を発揮した。

ウ．19世紀末から20世紀前半において華麗な管弦楽法による作品を残した。代表作にオペラ「ばらの騎士」などがある。

エ．パリ音楽院でラヴェルなど後進の指導にあたった。

問4 の楽器名をカタカナで答えよ。

問5 のコール・アングレ（イングリッシュ・ホルン）の旋律について、臨時記号を用いて実音で解答欄に記譜せよ。

問6 の旋律はペントニック・スケールで構成されている。ペントニック・スケールの名称を日本語で答えよ。

問7 の指示はどういう意味か答えよ。

問8 の第1ファゴットと第2ファゴットとの音程を答えよ。

問9 の指示はどういう意味か答えよ。